（別記様式第７号）

認定体験の機会の場の実施状況報告書

令和　　年　　月　　日

群馬県知事　あて

氏　名

報告者

所在地

群馬県環境教育等における体験の機会の場認定事務処理要領第４条の規定に基づき、次のとおり報告します。

（１）前年度における認定に係る体験の機会の場で行う事業の実施状況

|  |  |
| --- | --- |
| 体験の機会の場の名称及び所在地 |  |
| 体験の機会の場で行う環境保全の意欲の増進に関する事業の内容 |  |
| 事業の実施体制 |  |
| 参加人数 |  |
| 事業実施期間 | 年　　月　　日　～　　　年　　月　　日（　　年目） |
| 参加者の反応等 |  |
| 事故等の状況 |  |

※事業内容の分かる写真、パンフレット、チラシ等関係資料を添付すること。

１　申請者が法人その他の団体にあっては、「氏名」については、法人その他の団体の名称及び代表者の氏名を記載し、「住所」については、主たる事務所の所在地を記載すること。

２　氏名（法人その他の団体にあっては、その代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人その他の団体にあっては、その代表者）が署名することができる。

３　事業実施期間については、認定を受けた期間の何年目にあたるかを併せて記載すること。

４　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

（２）（１）の事業に係る収支決算

|  |  |
| --- | --- |
| 収　　入（※１） | 支　　出（※２） |
| 項　目 | 収　入　額 | 項　目 | 支　出　額 |
| ○○○費 | ○○○円 |  |  |
| 合計A |  | 合計B |  |

|  |  |
| --- | --- |
| A＞Bの場合の剰余金の使途について（※３） | 　 |

備考

※１　参加費等による収入及び助成金等を記載する。また、事業主からの持ち出し金がある場合、それについても記載する。

※２　講師謝金、場所代、人件費、事務費等、本事業を実施するためにかかる費用を記載する。

※３　収入が支出を上回る場合、その差額の使途について記載すること。

　　（例）「次年度の事業への繰越し」、「○○購入のための積み立て」など記載する。

　　　　A＝B及びA＜Bの場合は記載不要。